

好奇心旺盛なあなたを お待ちしております



行政管理局主査 併任 内閣人事局

當山 祥子

TOUYAMA Shoko

平成18年 4月 総務省採用

関東管区行政評価局

平成19年 4月 茨城行政評価事務所行政相談課

平成19年12月 茨城行政評価事務所年金記録確認茨城地方第三者委員会事務局調査員

平成21年 4月 行政評価局政策評価官付

平成23年 4月 行政管理局行政情報システム企画課個人情報保護室

平成25年 4月 行政管理局行政情報システム企画課情報システム

管理室総合申請係長

平成27年 4月 現職

Some One Week

Monday

今週末はいよいよ要求を審査する「局議」。これに向けて担当府省からヒアリング。

Tuesday

昨日のヒアリングで出した疑問点への回答が返ってきたので、それを元に説明資料を手直し。

Wednesday

局議を前に、資料を参事官に説明。アドバイスを受けて大急ぎで修正。

Thursday

いよいよ局議。緊張の一瞬。たくさん指摘を受けてしまった…。

Friday

担当府省と打合せ。昨日の局議結果を伝達し、次回の局議に向け作業依頼。



『責任のある仕事です!』

私は、現在、主に内閣人事局というところで、各府省が行う機構・定員の要求について審査等を行う業務に従事しています。あまり耳慣れない業務かもしれませんが、具体的には、毎年8月末に各府省より次年度の機構・定員等に関する要求が出てくるので、9月から年末までのいわゆる「査定期間」中において、自分の担当する府省から要求内容等の説明を受け、要求を認めるかどうかについて審査を行っています。

各府省が新しい業務を始めるに当たって、それを遂行するためにどういった体制を整えるかは業務の成功に関わる重要な事項であると思いますので、各府省の業務を知り、要望を聞き、メリハリのある審査ができるよう、日々責任を感じながら業務に当たっています。

査定期以外の時期については、行政管理局の業務として、各府省の既存の業務プロセスについて課題を把握し、その利便性向上に各府省とともに取り組むといった業務改革の推進に関する業務なども行っています。

『色々なことをやっています!』

私が総務省を志望した理由は、行政評価・監視という業務を通じて、調査の度に様々な府省の仕事に触れることができるので、飽きなくて楽しそうだなあとというくらいのごく軽い気持ちでした。ですが、実際に採用されてからは、地方事務所での行政相談を皮切りに、本省で勤務するようになってからも各府省に共通する法制度の運用、国民や各府省が利用する情報システムの開発・運用、そして現在の機構・定員審査業務と、自分が想像していたよりも遥かに幅広い業務に従事しており、全く刺激がなくなることがありません(日々勉強です…)

一見全く異なる業務の集合体であるように思えるかもしれませんが、国の行政をより良くすることを旨とするという目的はどれも一緒です。現状に留まらず常に新しさを求める好奇心旺盛なあなた、総務省のドアを叩いてみませんか？



Private Time

週末は疲れを癒すために家でゴロゴロしたいところですが、出不精にならないようなるべく外へ出るように心がけています。特に趣味の音楽フェスには、地方も含め毎年3～4か所足を運んでいます。青空の下、ビールを片手に好きな音楽を聴く時間は最高です!